

平成 29 年度
決算報告書

第14期事業年度

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

国立大学法人香川大学

平成29年度 決算報告書

国立大学法人香川大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,287	10,389	102	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	945	761	△ 183	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	246	327	80	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	-	
自己収入	22,009	22,213	204	
授業料、入学金及び検定料収入	3,857	3,866	9	(注4)
附属病院収入	17,987	18,018	30	(注5)
雑収入	165	329	164	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,483	1,570	87	(注7)
引当金取崩額	166	179	12	(注8)
長期借入金収入	1,778	1,778	-	
目的積立金取崩額等	-	10	10	(注9)
計	36,956	37,270	313	
支出				
業務費	31,631	31,742	110	
教育研究経費	14,183	13,877	△ 305	(注10)
うち補正予算にかかる授業料免除事業	-	-	-	
診療経費	17,448	17,864	416	(注11)
施設整備費	2,762	2,578	△ 183	(注12)
補助金等	246	327	80	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,483	1,544	61	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	832	812	△ 20	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	36,956	37,005	48	
収入-支出	-	264	264	

※上記の金額は、すべて百万円未満切捨てで表示している。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う年俸制導入促進事業に伴う特別運営費交付金が交付されたこと及び平成28年度に繰り越した退職手当及び年俸制導入促進費の執行により、予算金額に比して決算金額が102百万円多額となっている。
- (注2) 施設整備費補助金については、前払金の支払いが生じた等による工事計画の変更により、決算金額が183百万円少額となっている。
- (注3) 補助金等収入については、補助金獲得額の増加により、予算金額に比して決算金額が80百万円多額となっている。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者の増加等により、予算金額に比して決算金額が9百万円多額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、病床稼働率の向上等に伴う収入増により、予算金額に比して決算金額が30百万円多額となっている。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費受入額の増等により、予算金額に比して決算金額が164百万円多額となっている。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、国、特殊法人及び民間からの受託研究の増加等により、予算金額に比して決算金額が87百万円多額となっている。
- (注8) 引当金取崩額については、対象者の増加等により、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっている。
- (注9) 目的積立金取崩額等については、前中期目標期間に繰り越した年俸制導入促進費執行に伴うものであり、予算金額に比して決算金額が10百万円多額となっている。
- (注10) 経費の節減等に努めたため、予算金額に比して決算金額が305百万円少額となっている。
- (注11) 病床稼働率の向上による診療経費の増加等により、予算金額に比して決算金額が416百万円多額となっている。
- (注12) 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が183百万円少額となっている。
- (注13) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が80百万円多額となっている。
- (注14) 注7に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が61百万円多額となっている。
- (注15) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直し等により、予算金額に比して決算金額が20百万円少額となっている。